

四国電友会会報

第 80 号

4. 10



目次

電友会の皆様へ（テルウェル四国支部長）	二
NTTだより	三
平成三年度電話サービスの収支状況	三
中・遠距離の通話が減少	三
「テレジョーズ」契約五〇万件超す	四
本社等の組織見直し	五
お知らせ	五
私は今	五
敬 弔	七
テルウェルだより	七
余 栄	九
NEWS	九
本部・第三回評議員会を開催	九
好評であった香川の余技作品展	九
川 柳	九
冒 険	九
歴史（馬木重美）	十
紀行（猪谷嘉夫）	十
表紙の言葉	十
題 字	十

電友会の皆様へ

『また、よろしく願います』

テルウェル四国支部長

青 木 信 夫



初秋の候 先輩の皆様にはお変わりありませんか。

前藤谷支部長の本部転出の後任として、七月一日、テルウェル四国支部長を命ぜられました。

勝手の違う仕事ということもあって慌ただしさにまぎれて、まだごあいさつも十分できておりません。お詫びを兼ねて改めまして、電友会の皆様に、この誌面を借りてごあいさつ申し上げます。

いきなり私事ですが、昭和五三年に初めて、ふるさと四国勤務となって以来一四年、その間二度、都合六年半の東京勤めはありましたが、八年以上が、ふるさと勤務をさせていただいたこととなります。本当に幸せでした。

今度のふるさと勤めは、単に今迄の延長線上ではありません。今度はNTTを卒業し、

皆様方と全く同じOBとして、またNTT外郭での仕事という訳で趣きが違う訳ですが、幸いにも電友会という場の中では、先輩の中にも多くのお見知りの方もありまして、あまり違和感なしに飛び込ませてもらえそうに思います。その意味では、文字通り「また、よろしく願います」の心境です。

しかし、今度はテルウェルという立場から皆さんのお役に立ちたい。皆さんの生涯福祉も、それが私の仕事という訳ですから事は真剣勝負、お客さまとしての皆さんからのご注文なり、ご指導なりを込めて、「また、よろしく」とお願いいたします。

ほやほやのOBとして、文字通りの先輩OBの皆さんのお役に立てるよう頑張るつもりですので、色々と教えていただきたいと思えます。

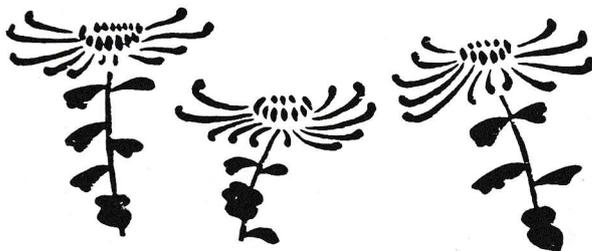
ところで、折角割いていただいた誌面ですので、一つだけテルウェルの現状報告を兼ねてニュースをお届けします。

それは松山に、テルウェル経営の「ショートステイ施設」が出来るとい話です。寝たきりの要介護老人を一二週間程度お預かりし、食事、入浴、それにリハビリなどを行うことによって、介護にあたられているご家族の負担を軽減する。つまり寝たきり老人および家族の福祉向上のための施設ですが、公共施設の場合、入所するまでに福祉事務所経由で一〇―一四日待ちの状態です。

松山でのテルウェル経営のショートステイは、NTT関係を優先するものでして、テルウェル創立四〇周年記念事業として、全国で初めて企画されたものであります。

これがいよいよこの一〇月二二日、NTT松山病院（旧松山通信病院）の真ん前に設置されるべく、起工式の運びとなりました。来年秋季のオープン後は、是非電友会関係の皆様を中心にご利用下さい。

とり急ぎ、誌面をお借りしての「また、よろしく」のごあいさつと、「松山ショートステイ施設」の動きを、お伝えさせていただきましたが、若輩者の私のこと、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしく願います。



NTTだより

平成三年度電話サービスの収支状況

「市外」からの補てん変わらさず

NTTは六月二十九日、平成三年度決算に基づく電話サービスの収支状況について公表しました。

デジタル化等の設備投資に伴う負担増がある中で、加入電話増等の増収努力や番号案内の有料化による効果に加えて、営業窓口の統廃合、電話受付(一一六)、番号案内の拠点集約等の合理化による経費節減に努めた結果、市内部門の赤字サービスである基本料、市内通話、公衆電話、番号案内は、それぞれ赤字幅を縮小し、市内通話については、営業内ベースで黒字になりましたが、経常ベースでは基本料二〇三〇億円、市内通話五六〇億円、公衆電話二二〇億円、番号案内一八四〇億円の赤字で、合計約四七〇〇億円の赤字となっています。

他方、市外通話は料金値下げや競争等の影響で、赤字幅は大きく縮小したものの、依然として大幅な赤字となっており、競争下にある市外部門の赤字で、市内部門の赤字を補てんするという基本的構造に変わりはないのです。

特に、基本料及び番号案内については、赤字幅も大幅であると同時に技術革新の効果も表れにくい分野であり、また公衆電話については、基本料収入等がないにもかかわらず、加入電話と同じ料金になっているという料金構造上の課題を抱えています。

また、収支改善の要因を分析しますと、全社的な経営改善努力による成果のほか、番号

案内については、平成二年一二月に実施した有料化の効果は三年度で現れたこと、公衆電話については、収支改善の大きな原因となったテレホンカード前受金の収入振替額

平成3年度 電話役務損益明細表 (単位：億円)

役務の細目	営業収益	営業費用	営業利益	(参考)	経常利益	(参考)
				2年度営業利益		2年度経常利益
加入電話	42,473	35,789	6,684	7,430	5,285	6,064
基本料	10,945	12,499	▲1,554	▲1,899	▲2,031	▲2,383
市内通話	15,692	15,489	203	▲32	▲557	▲806
市外通話	12,898	4,769	8,129	9,544	7,975	9,436
その他	2,938	3,032	▲94	▲183	▲102	▲182
公衆電話	3,149	3,297	▲148	▲215	▲234	▲300
自動車電話	2,191	1,848	343	526	291	499
その他の移動体電話	162	190	▲28	▲43	▲34	▲48
その他(番号案内)	2,867 (220)	4,673 (2,063)	▲1,806 (▲1,843)	▲2,248 (▲2,267)	▲1,801 (▲1,842)	▲2,244 (▲2,273)
計	50,842	45,797	5,045	5,449	3,507	3,972

(注) 郵政省報告は、営業収益、営業費用、営業利益。

が、今後は減少傾向にあること、基本料については、昨年度に料金誤請求に伴う費用の急増等があったことから、対前年度比の費用の伸びが小さかったこと等、一過性の要因が大きく作用しています。

NTTとしては、今後とも最大限の経営改善努力を行ない、抜本的な対策として、料金体系全体をコスト構造に見合ったものにすることを考えています。

中・遠距離の通話が減少

NTTは六月二十九日、平成三年度のダイヤル通話の利用状況について公表しました。

それによりますと、加入電話のダイヤル通話は、前年度比較で通話回数が〇・九%、通話時間が二・七%増加しています。

これを距離段階別に見ますと、市内・近距離(四〇キロまで)では前年度に比べて増加したものの、中・遠距離(四〇キロ超)では減少していることが分かります。

また、収入は前年度に比べ六・八%減少していますが、距離段階別に見ますと、昨年三月に料金値下げを行った「二〇―三〇キロ」と「一六〇キロ超」の区間の減収率が大きくなっています。(表参照)

次に県間通話の回数は、全国で四・四%減少し、特に東京都・愛知県・大阪府相互間では九・三%減少しています。

また、単位料金区域(MA)間の通話回数(市外通話回数)も全体では〇・五%の減少ですが、東京・名古屋・大阪のMA相互間では一〇・一%の大幅減少となっています。

今回の利用状況から分かることは、長距離分野でNCCのシェアが、前年度に比較して更に拡大したということです。

距離段階別通信回数等（事務・住宅総合）

距離段階	通信回数(百万回)	通信量(百万時間)	収入(百万円)
区域内	50,797 (1.5%)	2,130 (3.3%)	746,903 (2.0%)
隣接区域内	10,332 (4.2%)	564 (6.0%)	272,060 (4.4%)
～ 20 km	360 (4.0%)	23 (7.0%)	10,468 (5.0%)
～ 30 km	2,445 (4.3%)	144 (6.6%)	120,849 (▲ 9.8%)
～ 40 km	1,449 (1.0%)	88 (3.5%)	107,181 (1.0%)
～ 60 km	1,832 (▲ 2.9%)	108 (▲ 0.1%)	184,114 (▲ 1.7%)
～ 80 km	978 (▲ 4.9%)	56 (▲ 2.2%)	113,943 (▲ 3.8%)
～ 100 km	752 (▲ 5.9%)	44 (▲ 3.1%)	94,682 (▲ 4.7%)
～ 160 km	1,221 (▲ 10.0%)	73 (▲ 6.6%)	189,894 (▲ 8.8%)
160 km 超	3,105 (▲ 10.7%)	215 (▲ 5.8%)	755,730 (▲ 18.6%)
合計	73,271 (0.9%)	3,445 (2.7%)	2,595,824 (▲ 6.8%)

(注) 1 ()内は対前年度伸び率
 2 平成3年度から、移動体着信分を除いて集計

『テレジョーズ』契約50万件超す

NTTの通話料金月極め割引サービス「テレジョーズ」は、今年4月にサービスを開始して以来、7月末現在契約数ベースで50万契約を突破し、好調な滑り出しを見せています。「テレジョーズ」はお客様と契約し、毎月一定額を支払って頂くと、割引対象時間帯の通話料を1カ月合計して、通話料請求時に割引するサービスです。

お客様が下表に示す4種類のプランの中から、例えば、テレジョーズ2000を選んで契約されたとしますと、1カ月1750円の定額料金で、割引対象時間帯に2000円分(200度数)までの通話ができますから250円お得になります。更に割引対象時間帯の通話料が2000円を超えたとしますと、3000円分(300度数)までは、15%割引になりますので150円お得となり、合計すると400円のお得となります。

「テレジョーズ」は、深夜や土・日・祝日に通話することが多いお客様にとって、大変お得なサービスといえます。

NCC(新規参入電気通信事業者)も通話料金の割引サービスを実施していますが、これらのサービスは市外通話のみが対象であるのに対し、NTTの「テレジョーズ」では、どのプランも市内通話と市外通話の両方が割引の対象になっています。

なお、どのプランで契約するかについては、NTTの窓口又は116でご相談ください。

NTTの通話料金月極め割引サービス

プラン名	通常の見込額	割引後の見込額	割引率	プラン内容
テレジョーズ2000	2,000円	1,750円	15%割引	割引対象時間帯【土日・祝日は終日、平日は夜10時～翌朝8時】の通話に対して ・月々1,750円の定額通話料のお支払いで、2,000円分まで通話ができます。 ・2,000円分を超え、3,000円分までは利用額に対して15%の割引。
テレジョーズ3000	3,000円	2,600円	15%割引	割引対象時間帯【土日・祝日は終日、平日は夜10時～翌朝8時】の通話に対して ・月々2,600円の定額通話料のお支払いで、3,000円分まで通話ができます。 ・3,000円分を超え、5,000円分までは利用額に対して15%の割引。
テレジョーズ5000	5,000円	4,300円	15%割引	割引対象時間帯【土日・祝日は終日、平日は夜10時～翌朝8時】の通話に対して ・月々4,300円の定額通話料のお支払いで、5,000円分まで通話ができます。 ・5,000円分を超え、8,000円分までは利用額に対して15%の割引。
テレジョーズ8000	8,000円	6,850円	15%割引	割引対象時間帯【土日・祝日は終日、平日は夜10時～翌朝8時】の通話に対して ・月々6,850円の定額通話料のお支払いで、8,000円分まで通話ができます。 ・8,000円分を超える分はすべて、利用額に対して15%の割引。

- 1カ月の割引対象時間帯のご利用額がお申し込みの定額通話料に満たなかった場合でも、通話料の減額又は、翌月以降への繰り越しは行ないません。
- 割引対象時間帯以外の通話料については、通常の料金です。
- 本サービス利用の場合は、割引計算のため通話の内訳記録が必要となります。
- サービスプランの変更、契約解除のお申し出があった場合は、翌計算期間から変更となります。

本社等の組織見直し

新たな事業展開目指して

NTTは七月三日、本社等の組織を一部変更し、新たに「電力・建築・ビル管理本部」と「不動産開発推進部」を設置しました。NTTは電力及び建築・ビル管理業務については、一体的に事業化を行なうこととしており、これまで電力部門、建築部門として、各々独自の体制で事業運営を行なってきた部門の業務を円滑に新会社に移行するため、その準備体制として「電力・建築・ビル管理本部」を設置したものです。

また、「不動産開発推進部」の設置については、「電力・建築・ビル管理本部」設置後の「建築部」とグループ事業推進本部「不動産部」を統合し、不動産の有効活用を図る観点から、不動産に関する自己完結的な業務運営と責任体制の明確化を図ることを目的としています。

・8月10日発売
・腕時計型ポケットベル (プレシャス)
・懐中時計型ポケットベル (パルフィー)
・小型で、携帯性に優れた ポケットベル
・月額使用料(消費税別)
腕時計型ポケットベル (プレシャス)
基本営業区域 2,700円
広域営業区域 3,100円
懐中時計型ポケットベル (パルフィー)
基本営業区域 2,600円
広域営業区域 3,000円

お知らせ

NCC (対策) ポケットマニュアルを

全会員に配付します (地本事務局)

電友会本部では、長距離通信事業本部が、NTT社員向けに作成した「NCCポケットマニュアル」を、会員の皆様にも配付するこ

とにしました。
市外通話料金を左右するLCR (最安値回線自動選択機能) の正しいご利用方法を解説してあります。
是非ご一読ください。お得意な市外通話のかけ方などを、友人や地域の方々に広く知らせて頂ければ幸いです。
ご協力方よろしくお願います。
なお、疑問点等がございましたら、NCC 一〇番 (四国支社企画部経営企画担当) へお問い合わせください。
(連絶先) 〇八九九―三六一―二二四一番

私は今



◇ 明野 統 (松山)

今年の三月下旬、家で階段から落ち、全身打撲で呻吟し、後遺症も手伝って、三カ月余り寝たり起きたりのうとましい日々を過ごした。今はかなり良くなったが、まだゴルフはできない。書も甚も用心しながら慣らしている。
それにしても、後遺症状とは、ききしにまさるやっかいなものだ。
何の憂いもなく、何でもやれるということ、は、なんとすばらしいことであろう。

◇ 荒木 芳久 (大洲)

電友会の総会があると、先輩諸氏のご壮健な姿を拝し、一時的ではあるが、若返った気持ちになるのは、私一人ではあるまい。
最近では、百姓の仕事も無理がきかなくなり、ポチポチといった今日この頃である。
年齢の関係か、寺の世話をさせて頂き、四国霊場、伊予一三仏、弘法大師二一霊場、石鏡

山参拝などを行って、懺悔している。
今後は、昨年から始めたボランティアに、もう少し力を入れようと思っっている。

◇ 今城 岩吉 (高知)

昭和五四年に退職し、翌年の六月から思いがけない学校事務へ再就職して、毎日、若い生徒さんのエネルギーあふれる中で、一二年間、元気に勤め、今年は、古稀を迎えることが出来ました。
間もなく再退職して、これからは楽しく、老人の信条「怒るな、転ぶな、風邪ひくな」と、心の中で念じながら、余生を送りたいと願っています。

◇ 岡 球子 (徳島)

退職して一〇年、電話番号ユーザ協会徳島地区の専務理事を勤めさせていただき、昨年四月、この職を退いた後は、結婚アドバイザーの仕事についています。
お見合い、交際、結納、結婚と、実るまでに長い月日がかかりますが、実れば喜んでいただける楽しみがありますので、若いカップルが誕生し、愛のあかりをともし旅立つのを目のあたりにしては、この仕事への情熱を燃やしています。

◇ 岡本 宏 (松山)

結婚の披露宴の引き出物には、テレホンカードが喜ばれますので、少しでもNTTのお役に立てばと思っっています。
退職寸前の勤務先で、詩吟と尺八の勉強を始めて、もう一三年になります。
当時は、詩吟の段級を取るつもりはなかったのですが、退職してから取らされるはめと

なり、今は準師範で、OBの皆さんと楽しくやっています。

尺八の方は、何とか音が出る程度であったのが、地元で民謡の伴奏をお手伝いするようになって大分腕が上がり、譜面さえあれば、大抵のものはこなせます。

しかし、吟詠の伴奏は、吟者について行かねばなりませんので、一苦労しています。

◇ 小川 京子 (安芸)

主人が亡くなって八年余り、良人への供養にと書き始めた写経が、間もなく三千巻になります。

毎朝、早起きして写経を続けておりますが、写経の功德で、心のやすらぎを感じます。

また、その後のラジオ体操で健康状態も非常に良く、感謝の日々を過ごしております。何にも煩わされない静かな早朝の一時は、一日のスタートとして貴重な時間です。

これからも、毎日の日課として、生涯書き続けて行きたいと思っております。

◇ 酒井 建一 (松山)

退職時の一時は、爽やかな解放感の中で、一度はやってみなかった俳句、油絵、陶芸、尺八、テニス、バドミントン等、少し欲張り過ぎかと思いつつも、一気にアタックしてみました。

最近が高齢者大学、旅行業務主任者試験、菜園作りに等にも新たな「生き甲斐」を求めて、挑戦しております。

年一回程度の国内、外旅行やクラブでの囲碁、水泳、釣り、月一回のゴルフ等も健康ライフのメニューとして、忙しい毎日を送っている今日この頃です。

◇ 島 とよ (小松島)

去る新緑の頃、姪夫婦の車で信州を回りました。

自然公園坪庭から見た縞枯山の幻想的現象は、世界唯一の景観と言われております。一万年の歴史を持つ八島湿原。アルプス、浅間、富士の山々を展望する美ヶ原。下界を見下ろす雲上の高原で、アルプスに沈む夕日の刻々と変わる色合いは、創造主の傑作かと感動しました。

夜明けに鳴き続けるカッコー、鶯の声にも旅のロマンが感じられ、高原ホテルの宿泊に大いに満足しました。

わずか三泊四日の旅でしたが、心に残る良い旅だったと感謝しています。

◇ 高瀬 昭 (新居浜)

嫌だと言うのに成り行きて、自治会をやらされる羽目になってしまった。

言うだけの役員がいるかと思えば、会長づらするなど言わんばかりに、噛みついてくる会員に出くわすこともあり、腹の立つことしきりである。

真面目にやるほどに、怒りっぽくなっていく自分に呆れたり、妻に老化の証と心配されたり、からかわれたりこの頃である。どうあれ、引き受けたからには、精々前を向いて頑張るしかない諦めている。

◇ 長野 律子 (高松)

好きなことをしたいと、早めに退職しましたが、うかうかしている間に、一六年も経ってしまいました。

いくら長生きをしてもボケては困るので、少しは予防になるかと思ひ、気の向くままに

針を持って、老眼と肩凝りを宥めながら、チクタクと作品作りに精を出しています。

丈夫が取り柄で若いつもりでしたが、先年、病気をしてから、健康の大切さを身にしみて感じています。

それで、出来るだけ規律ある毎日を過ごすように、今は心掛けています。

◇ 西岡 慶文 (鴨島)

昭和五九年四月に退職してから、はや八年余り経ちましたが、おかげさまで、元気に毎日を送り迎えています。

只今は、地区自治会長(来年三月まで)として、地域社会のお世話をさせて貰っております。また、今年四月からは、鴨島町老人会に仲間入りしました。

電友会徳島支部関係では、常任幹事として「電徳島温古会々報」の編集を担当し、現在、第一〇号発刊に向けて努力しています。

◇ 三原 義文 (松山)

退職以来一年、幸運にもすばらしい第二の職場に恵まれ、趣味の書道と社労士の資格が十二分に活用でき、随分楽しく過ごすことができましたが、その職場も、昨年、よきNIT退職者にバトンタッチしました。

今は毎週一回、「書の芸術」のカルチャー講師を主宰する傍ら、実務書の揮毫に応じて毎日を忙しく過ごしています。実務書の方は大百貨店のカルチャー講座に、また芸術の方は中央展入選に夢を託して、勉強を続けています。

先日、書芸の錬成会(三重県名張市)に参加して、全国の会員と切磋琢磨し、交流を図りましたが、この研修会を楽しみにしています。

る今日この頃です。

◇ 村上 サツ子 (今治)

六年前退職した私は、憧れていた専業主婦にも、一時期を過ぎると退屈になり、旅や趣味だけの余生に飽き足らず、四年前に勧められた四国移動通信の仕事を手伝っている。

当時は、二種類だったポケットベルが、音楽や時刻まで出るものなど一三種類に増え、世界最小の携帯電話など、時代の通信機器をリードするNTTの端っこに自分を置いて、今は現役気分を味わっている。

多様なお客さまの暮らしをかいま見ては、次の「生きがい」を模索しながら……

◇ 八島 一夫 (丸亀)

退職時に入会した「八一会」(県FOBのゴルフ同好会)で、月一回、スコアーは別としてハーフタイムのビールを、ワイワイ、ガヤガヤと楽しんでいます。

その外、車の運転が好きなことと、時間つぶしに始めた赤帽(運送業)で、東は東京、西は九州までの高速道路ドライブを楽しんでいたのですが、荷物の積卸に体力的限界を感じ、七月で卒業しました。

これからは、一時休止中のお寺参りドライブを、再開することにしています。

◇ 安村 淑 (高知)

お声を掛けていただきまして、ありがとうございます。

昨年は、思いがけない大手術をして、四月の入院生活を送りました。今顧みますと辛かったことは忘れ、一つの得難い経験をしたと思っています。

その後は元気に、お茶、俳句のサークルでいと楽しく、襲い来る老いの波に、せめても抵抗を試みながら、賑やかに飛び回っている今日この頃でございます。

◇ 和田 興 (松山)

昼までは、今年中の完読をめざして聖書の通読、そして家事雑用などを日課とし、時々、孫の用事に使われている昨今です。

午後からは、パートタイマーで汗を流しています。健康法は体操とゴルフの素振りぐら이지만、お蔭様で元気でおります。

この春には、河辺村の「ふるさと宿」へ家内と一泊旅行をしました。行き道は雨でしたが、翌日は晴天に恵まれ、森の緑に親しみ、山の空気に触れ、所々でよもぎを摘みながらのんびりと山あいの道を走りました。

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏名	死亡年月日	享年	所属
伊藤 勇	4・6・23	67	松山
石井 民	4・7・1	62	丸亀
森 虎一	4・7・26	88	鳴門
仙波 克之	4・7・30	64	松山
中北 久勝	4・8・11	90	丸亀
遠藤 健一	4・8・17	57	松山
川合美智子	4・8・26	64	観音寺
大岩 廣	4・9・7	63	松山
山内 繁	4・9・19	67	松山

テルウェルだより

満六歳を迎えた

ボランテニアNTT松山OB会

七月二三日、ボランテニアNTT松山OB会(会員七三名)は、テルウェル四国支部会議室で、満六歳の総会を開催しました。

冒頭、加藤事務局長から出席者(三三名)に対して、磯岡会長の病状について説明があり、会長代行として亀田副会長が挨拶を述べた後、来賓として同会の顧問でもある、青木テルウェル四国支部長から「諸先輩がお元気で、ボランテニア活動を通じて社会に貢献されている姿に敬服もし、喜ばしく思います。いつまでもお元気で活躍されますよう。また、会の益々の発展を祈ります」と激励を受けて議事に入りました。

議事の中では、平成四年度活動計画(案)が審議され、新しい退職者への誘いを強化すること、NTTOB会と言う名称からも活動内容に特徴的なカラーを出すこと、NTTやテルウェルの要請があればいつでも対応できる体制を整えることなどが決議されて、総会は盛会裏に終了しました。

なお、役員等(会長、副会長、各プロックの幹事、会計監査)は、全員留任ということで決議されました。(参加を希望される方は、〇八九九二一一八七五一へ連絡してください)

「家庭介護者教室」を開催します

NTTグループ退職者・現職者のための、高齢者社会を迎え、ねたきり老人等の介護は、家庭にとって大変重要な課題となっ

家庭介護者教室

- ▷開催月日
11月9日(月) 13時～17時(4時間)
- ▷開催場所
NTTプラザ松山 2階大ホール
松山市清水町 TEL (0899) 24-6100
- ▷実施内容
ねたきり老人等の家庭内でできる介護知識の修得及び介護者として一定の役割が果たせる実技習得を目標とします。
- ▷その他
テキスト及び資料等は無料です。
- ▷お問い合わせ先・お申込み先
テルウェル四国支部 福祉センター
TEL (0899) 34-7294 (なんでもふくし)

テルウェルでは、平成元年度から家庭でできる、ねたきり老人等の基本的な介護知識や実技を修得するための「家庭介護者教室」を日赤各県支部等のご協力を得て、毎年開催しており、これまでに、延べ二六八人の方々が参加され、好評を博しております。つきましては本年度も、次により開催するよう計画しておりますので、NTTグループの退職者をはじめ、現職者の方々の多数の参加をお待ちしています。

なお、松山市以外の高松市、徳島市、高知市でも、テルウェルの各営業所主催での開催を計画しておりますので、詳しいことは、もよりの営業所へお問い合わせください。

家庭介護者交流会

- ▷開催月日
10月29日(木)～30日(金) 一泊2日
- ▷開催場所
松山市末町 奥道後保養所 TEL (0899) 77-0411
- ▷日程(予定)
- 29日(木)
- 13:00～14:30 休 養
- 14:30～16:00 介護についてのお話
(日赤愛媛県支部家庭看護教師)
- 16:00～17:00 意見交換・経験発表
(同上の教師も参加)
- 17:00～18:00 入浴
- 18:00～19:00 懇談(夕食)
- 30日(金)
- 朝食後解散
- ▷お問い合わせ先・お申込み先
家庭介護者教室と同じ
- (注)参加にあたってヘルパーが必要な方は、その旨申し出てください。

在宅介護者の方にいつときの安らぎを「家庭介護者交流会」を開催します

テルウェルでは、ねたきり老人等を抱え、日夜介護にあたっておられる方々に、いつでも休養していただき、お互いに苦勞話を交換する集いを、次により開催することにしております。

参加ご希望の方は、支部福祉センターへお申し出ください。

心身障害者(児)の方々に
お見舞金をお贈りします

テルウェルでは、社会福祉事業の一環として、毎年重度の心身障害者(児)の方々にお見舞金をお贈りしています。昨年度は、二四名の方にお贈りしました。

該当される方で、これまで受給されていない方は、支部福祉センターか、もよりの営業所へお知らせください。

対象者

- 現職者世帯
- NTT、全電通(専従役員や書記の方)、テルウェルの現役職員の配偶者および扶養している父母又は子。
- 退職者および遺族の世帯
- ご本人が扶着している父母又は子。
- ただし、有職者は該当しません。

必要書類

所定の申込書等のほか、次表の書類が必要です。

●お見舞金(一人につき)

- 重度障害者(児)の方 年額三万円
- 重症障害者(児)の方 年額五万円

精神障害	先天性的 内蔵疾患	被害健康 保償	公害医療手帳(写)	小児慢性 特定疾患 (写)、または医師の診断書	特定疾患 受給者証(写)、または医師の診断書	療育手帳(写)※A級の方	身体障害者手帳(写)※一級・二級の方	障害区分	申込書等に添付していただく書類
------	--------------	------------	-----------	-------------------------------	---------------------------	--------------	--------------------	------	-----------------

NEWS

本部・第三回評議員会を開催

(地本事務局)



七月九日、東京京橋会館で第三回評議員会が開催され、四国地方本部からは、六車本部長と中井、松本の両評議員が、この評議員会に出席しました。席上での武田会長のご挨拶は概ね次の通りです。

一 会員が七万三千余名(平成三年度末)となり、発足時(平成二年四月一日)に比べて、八千四百名強の増加となった。また、平成二年九月、沖繩地方本部が発足したので、現在全国一三地方本部となった。

会員並びに組織体制の強化がこのように順調に進んでいることは、会員の物心両面にわたる生活・福祉の向上、生きがいの増進、NTTへの協力、NTT事業の発展のために、誠に喜ばしいことである。

二 児島NTT社長は「OBとNTT現役は一体であり、OBの理解と協力なくして、国民の理解と協力を得ることはできない」という認識を持っておられるので、OBとNTT現役との相互協力、支援体制が強化され

- 余 栄 (死亡順)
- 正七位勲六等瑞宝章 故 黒田富一様 (東京)
- 勲六等瑞宝章 故 真鍋仲義様 (丸亀)
- 正七位勲五等瑞宝章 故 山内旬一様 (松山)

つあり、OBサロンの設置を始め相互支援のための情報交換や組織作りが、各所において着々と進められていることは誠に喜ばしい。

三 昨年、電友会ボランティア活動賞を創設し、この表彰を通して、OBの中に地域社会への奉仕のために、また、生きがいの充実のために、種々の有意義なボランティア活動を、地道に永年にわたり行っておられる方が予想以上に多いことを知って感激した。

四 電友会専用の団体傷害並びに生命・傷害セット保険の二保険を、平成三年度後半から開始したが、退職者の要望にマッチした有利な保険であるため、会員から大変喜ばれ、全国で、前者は千八百件、後者は八五件の加入となった。

五 平成四年度は、電友会発足三年目の年になるので、会員の生活と福祉の向上、生きがいの増進のための事業を積極的に推進し、NTTに対する支援体制を強化したいと考えている。

好評であった香川の余技作品展

(香川電友会)

香川OBの有志による初の余技作品展を、五月一九日から六日間、四電プラザ(高松市丸亀町)で開催し、出展者三八名、出展作品六五点、観覧者四三〇余名の予想せぬ成果となりましたことを報告します。

ちなみに、四国新聞に掲載された短評は、次の通りでございます。「書道や拓本、パステル画、水墨画をはじめ

俳画、彫刻、レザークラフト、陶芸、写真など六五点を寄せ、趣味の広さと深さを見せていた。いずれも余技とは思えない力強い作品が目立ち、現役顔負けのパワーが光って、訪れた人たちを感心させていた」(森記)

川 柳

森 駿二郎(阿南)

血圧が高いと話しながら飲み正す襟すり切れている金バッジ 侮るな乾けば飛ぶぞ濡れ落ち葉 ポックリ寺の掃りに宝くじを買い 古都京都やがて新都になるビル化 佐々木 光(枚方)

吹き降りの泡の一つが溝へ逃げ 有線のよく通る朝鎌切れる 一等地売れず屋台が借りてます 彼岸花家族仲よく群れて咲く 文庫本読んでる人が釣れる癩

冒 険

北氏の太平洋横断記念祝賀会より

「自由人になるため、体力と気力の限界に挑戦したい」と言うのが、ヨット(双胴の汀三世)による太平洋横断を決意した北哲朗氏(六三歳)の考えであった。

そうして去る六月一五日、四一日間の航海を終えて、無事帰国した氏の勇氣と決断には改めて脱帽する。

七月一七日、その北氏の快挙を祝して、NTTプラザ松山でパーティが開催された。出席者八〇余名の内訳は、NTT関係者がOBを含めて七割、氏のヨット仲間や町の友人達が残りの三割を占めていた。





当日は午後六時から、航海中に撮影されたビデオ（南海放送で放映済み）が会場で放映され、氏の体験談を一時間余り熱心に聞いた出席者は、千葉NTT四国支社長からも祝辞を受けた北氏を囲んで、和やかな懇談会に移った。

淡々と語る氏の言葉には、体験者でないと言れない示唆に富むものが多かった。その内で印象に残ったものを二、三紹介したい。

◆ 七八〇キロの航海中、同乗の石川順二氏（伊予三島市出身）と数時間ずつ交替で睡眠をとったが、緊張の連続と寝不足から足腰がシビレ、感覚がなくなるのを覚えた。

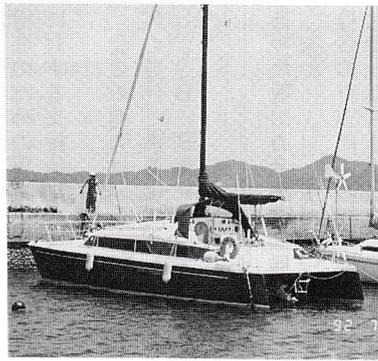
◆ ハワイ出航後、三〇日目に小笠原島二見港に寄港して、やっと入浴できた。

◆ 身に危険を感じたのは、六回にわたる時化のパンチング（四メートル級の高波）ではなくて、紀伊水道に入って船舶の往来が激しくなったときである。

◆ 航海中は、アマチュア無線仲間との交信が定時に保たれ、それがとても心の支えとなった。（交信模様や日々のポジション（艇の位置）は、NTTのパソコン通信ネットなど

を通じて、NTTの仲間からヨット仲間や家族の人達に伝えられていた）

◆ 五月二六日、太平洋の真ん中で「地球こそ正に自然の生き物である。人間を含め万物総てに仏性あり、宇宙の自然の恵みに感謝したい」と航海日誌に書いた。（穴吹記）



歴史

熱田津から白村江へ・倭から日本へ

馬木 重美（松山）

熱田津は松山の何処だろうか。古三津、和氣、堀江、吉藤、御幸寺山等々の説があり、御幸町の護国神社横の万葉苑には、御幸寺山を背に熱田津の歌碑（場所を特定するものではない）が立ち、周囲には千三百余年の昔を偲ぶに相応しい草花が咲き乱れている。

数年前に、松山市来住町の来住廃寺跡の発掘で、行宮と思われる大きな遺跡が発見されたが、齊明天皇（女帝）が六六一年に、二か月余り伊予に滞在されたことや、建物の規模から見て行宮であった可能性が高いようだ。

大和三山（香具山他二つの山）に似た近くの天山、星岡山、東山の三つの山と、側を流れる小野川は、大和盆地の南端に位置した飛鳥を思わせる景色だったとか。

そんな背景から熱田津は、重信川と小野川の合流点、或いは重信川河口付近ではなかったかという説が有力である。

ともあれ、歌碑には額田王（齊明天皇に仕え、大海人皇子の妃となり、後に天智天皇の後宮に入ったと言われている）が詠んだ熱田津の歌（万葉集で有名）が刻んである。

熱田津に船乗りせむと月待てば

潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな

六六〇年、新羅と唐は同盟を結び、連合軍が百済を攻めて征服。齊明天皇は百済からの援軍派遣の要請に応え、中大兄皇子（後の天智天皇）、大海人皇子（後の天武天皇）らと連れ、難波津を出港。途中、立ち寄った伊予の国から筑紫の国へ、月の夜に潮を待って熱田津から一斉に船出したとき（異説あり）、天皇側近の額田王が詠んだ歌である。

筑紫の行宮朝倉宮に移った天皇一行は、次々と病気で倒れ、齊明天皇までが病気で崩御されるといふ不幸に見舞われたが、そうした中で、中大兄皇子らの百済救援活動は続き、二年後の六六三年、朝鮮半島西海岸の白村江（現・錦江）へ、四百隻余の船で渡海した倭の軍勢二万七千余が、唐と新羅の強固な軍船の前に敗退。再起を図った百済は滅亡し、敗れた倭の将兵らは、亡命を希望する万余の百済の人々と共に半島から帰国。中大兄皇子らは、敗北感と亡国の危機に暗澹としながら彼らを迎え、勝った唐や新羅の来襲を恐れて、国土防衛のための備えを固め、近江大津に遷都したり、六七〇年には、国号を「倭」から

「日本」に改めて時を稼いだとか。

六六八年になってやっと即位した天智帝が六七一年に崩御。翌年、皇位が絡んで天皇の弟（異説あり）大海人皇子と天皇の子大友皇子が争い（有名な壬申の乱）、日本国内は権力闘争で揺れるが、六七〇年になると新羅と唐の同盟が破れ、新羅は唐を半島から追い出しにかかり、六七六年に半島を統一する。その頃、唐では武后（則天武后、女官から皇后になる）が権力を握り、六九〇年には、帝位に就いて国号を周と改めるなどの政変があった。次第に朝廷への追求の手も弱まり、日本にとっては誠に幸せな結果となった。熟田津を訪ねて、飛鳥へ（古代へ）旅することが出来たらと思う。

紀 行

木曾の御嶽山と駒ヶ岳

猪谷 嘉夫（高松）

今年の夏山旅行は、念願の木曾御嶽山と駒ヶ岳へ行くことにした。台風一一号近接で出発をためらったが予定通り決行。豊川で一泊し、八月一九日、名古屋から木曾福島（中央本線）へ。タクシード御嶽山に向う。

木曾節で有名な御嶽山は、標高三〇六七米のコニード型火山。信仰登山の霊峰としてその歴史も相当古い。王滝集落を過ぎれば、参道の両側に霊神碑や石仏が立ち並び信仰の山を思わせる。道（スカイライン）は追々急坂となり七曲りの連続である。

約一時間半で終点の田ノ原（標高二一八〇米）に着く。白衣の信者や登山者が沢山集っておる。ここからは徒歩登山。上層部は蜜雲にとぎされ美しい山容も見えない。少し休憩

して下山した。

御嶽山周辺は、大森林地帯で良材を産出する。俗称木曾五木（松・高野槇・サワラ・ネズコ・アスナロ）は、尾張藩所領時代から禁伐木として取締りが厳しく「松一本首一つ」とまで言われていたとのこと。今宵は上諏訪に泊まる。

翌二〇日は快晴。早朝に出発し駒ヶ根（飯田線）に向う。今頃（夏山シーズン頃）ロープウエーは乗客が殺到し、一―二時間待たされる由で、下車後直ちにタクシードしらび平駅に急行。途中の駒ヶ根高原は、老杉の中にホテルや民宿が点在する絶好のリゾート地。しらび平駅（ロープウエー）で暫く待って乗車。眼下は九〇度に近い急勾配の山腹。八分

で上り終点（千畳敷駅）に着く。千畳敷カール（標高二六一二米）は、氷河時代に木曾駒ヶ岳の肩口を氷河が抉りとった窪地。そこへ氷河で運ばれた岩石が積って、その岩石の間を雪解け水が流れ高山植物を育成し、この頃可憐な花が咲くお花畑である。石ころ道を苦労しながら約四〇分間上り下りしつづ一周する。

お花畑の全面には、永河で削りとられた宝剣岳や小岳が剣を立てた様に並ぶ大壁面が展開し、その眺望は壮観の一語に尽きる。木曾駒ヶ岳（標高二九五六米）は宝剣岳（標高二九三二米）の後方に控えており、千畳敷カールから頂上は見えない。

木曾駒ヶ岳の数一〇軒東方には甲斐駒ヶ岳（標高二九六六米）が聳えており、木曾駒ヶ岳より一〇米だけ兄貴分である。因に、駒ヶ岳と称する山は全国に沢山あるようだ。それでサミットばやりの当今、駒ヶ岳所在の二三市町村がネットワークを組み、「駒ヶ岳友好

連峰」を結成しておる。

帰途、駒ヶ根高原にある信州で善光寺に次ぐ名刹光前寺に詣でる。寺は千古の老杉に囲まれ、昼なお暗い所にあり古色蒼然たる趣があった。（八・二六記）

表紙の言葉

桔 梗

私に秋になると、なぜか桔梗の花を画く、秋の季節によく似合うからだろう。淡い柴の可憐な花は、庭で咲くより、草原に咲くのが似つかわしい姿といえる。

題 字

電友会愛媛県支部の長谷川茂（幽齋）氏にお願いしました。

投 稿 規 定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳、五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切十一月二〇日

- 字数はなるべくお守りください。
- 原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国地方本部会報 第八〇号

平成四年一〇月一日発行

編集発行 電友会四国地方本部

事務局

松山市一番町四一三（二七九〇）

NTT四国支社内

電話（〇八九九）三三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社



ハウディ・コードレスホン

CP-R30

コードレス留守番電話

販売価格 **64,800** 円〔消費税別〕

※販売価格には、工事費は含まれておりません。

FM音源だから
ちよつと待ってが、
キレイになった。



保留音メロディに、
音質のきれいな
FM音源を採用。
簡易生活防水、
2台まで増設可能な
コードレス。
暮らしの便利がひろがる
コードレス留守番電話。

